



SPORTS COMMUNITY TOCHIGI

栃木市スポーツマスタープラン 概要版
元気はつらつスポーツコミュニティとちぎ



平成28年3月
栃木市教育委員会

1 プランの策定にあたって

■ プランの背景と目的

今日の社会は、少子高齢化が進行し、グローバル化や高度情報化の進展、人間関係の希薄化など、様々な分野で市民を取り巻く環境が変化するとともに、急激な社会構造の変化により、市民の価値観やライフスタイルが多様化しています。

それらに伴い、子どもの体力低下や生活習慣病などの予備群のさらなる増加も予想されています。

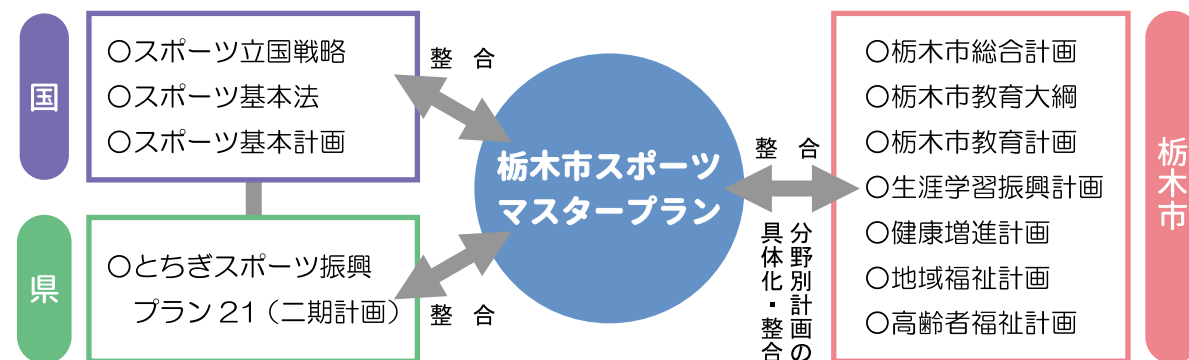
こうした中、スポーツ活動は、健康で活力に満ちた豊かな生活を送るため、ますます重要になっていくとともに、自然とのふれあいや仲間づくりの場として、スポーツに対するニーズも高まっています。

『栃木市スポーツマスタープラン』は、スポーツを通じて、市民が楽しく、生き生きと健康な生活を送ることができるまちを目指すため、長期的な視点に立つスポーツの推進策が必要になってきたことから策定されたもので、本市における今後のスポーツ推進の指針となるものです。

■ プランの位置づけと期間

本プランは、国、県、栃木市の関連法令・関連計画との整合性を図りながら策定しました。

■ プランの位置づけ（関連法令・関連計画との関係図）



■ プランの計画期間

本プランの期間は、総合計画などの終了年度に合わせて、平成28年度（2016年度）から平成34年度（2022年度）までの7年間とします。また、平成31年度を目途に検証・見直しを行います。

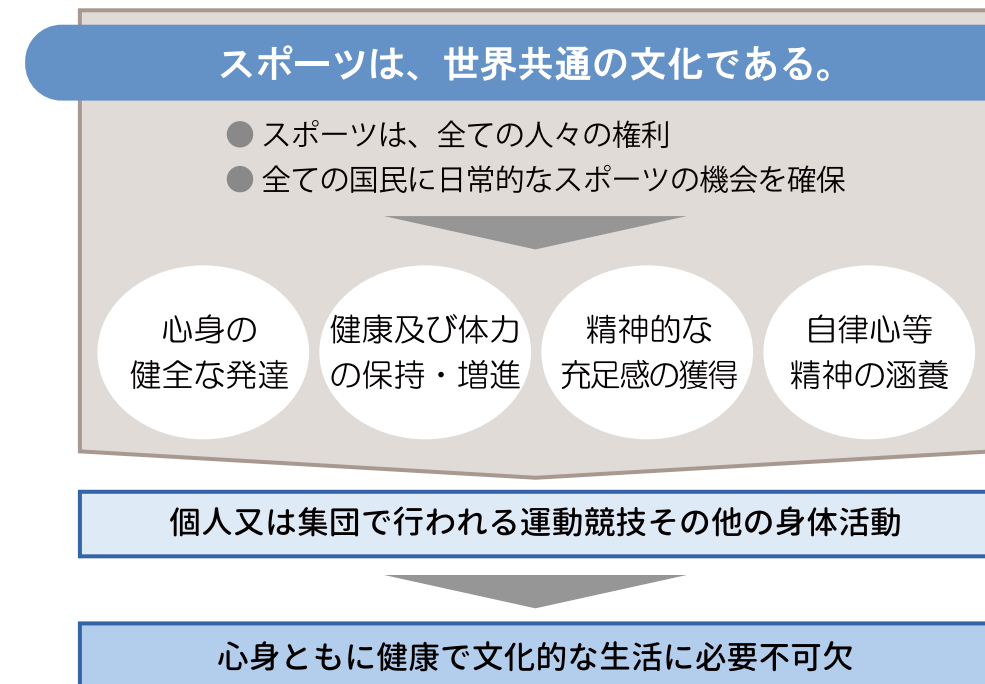
平成25年度	26	27	28	29	30	31	32	33	34
栃木市総合計画									
基本構想 [平成25～34年度]									
基本計画（前期）[平成25～29年度]					基本計画（後期）[平成30～34年度]				
教育大綱 [平成27～29年度]					教育大綱 [平成30～34年度]				
教育計画 [平成25～29年度]					教育計画 [平成30～34年度]				
栃木市スポーツマスタープラン									
[平成28～34年度]									
検証・見直し									

■ スポーツの意義と役割

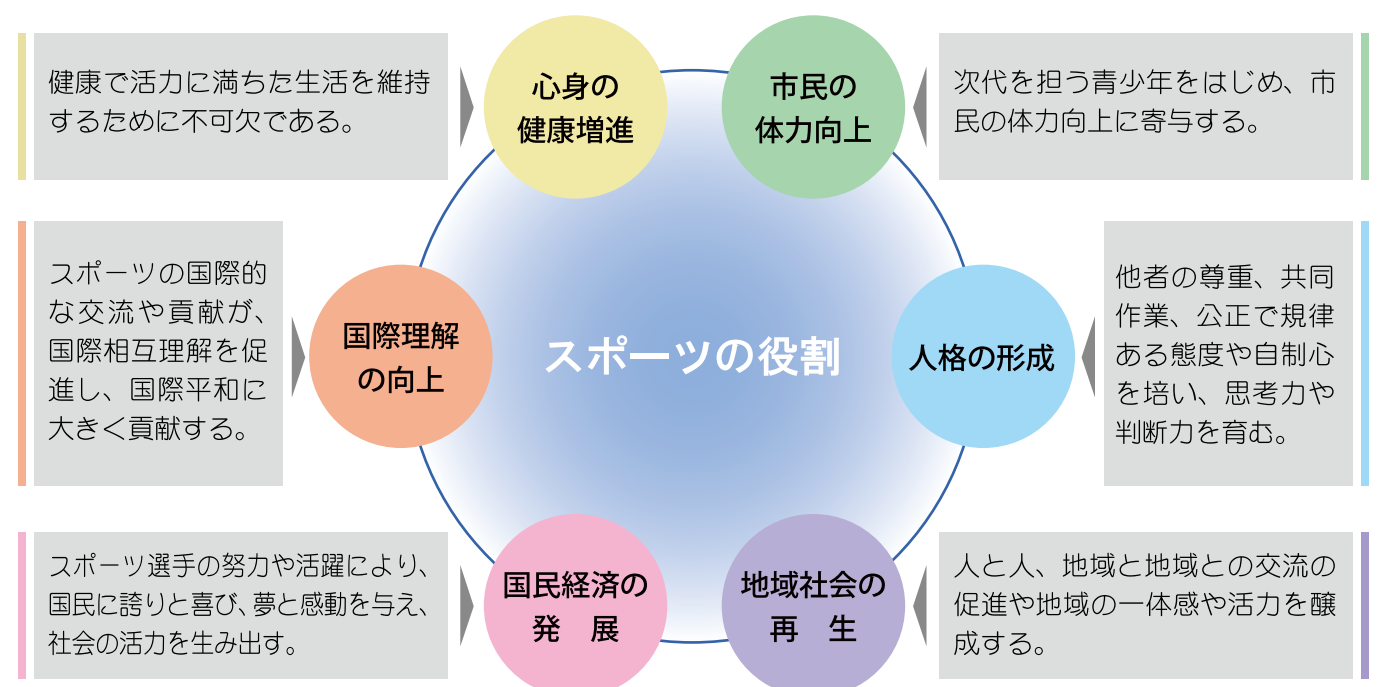
スポーツ基本法の前文は、「スポーツは、世界共通の人類の文化である。」から始まります。

この、スポーツの定義や意義、役割は、次のように整理されます。

■ スポーツの定義・意義など



■ スポーツの役割



2 栃木市のスポーツを取り巻く環境

■ スポーツ推進に向けた課題

スポーツの推進に向けた課題は、全国的なスポーツ関連潮流の変化や動向等、様々な栃木市におけるスポーツの現状を鑑み、次のような8つの視点に整理されます。

■ スポーツ推進の課題

全国的なスポーツ関連潮流の変化や動向など

栃木市におけるスポーツの現状

スポーツ推進に向けた課題

- ① スポーツ施設などの適正かつ計画的な配置
- ② 市民のニーズに対応したスポーツ施設の利便性向上
- ③ スポーツを通じた地域コミュニティの活性化
- ④ トップレベルの大会を見据えた競技・プロスポーツの推進
- ⑤ 連携・協働によるスポーツ推進と交流促進
- ⑥ 観光と連携した栃木市らしいスポーツ施策の展開
- ⑦ ライフステージに応じたスポーツの推進
- ⑧ 市民ニーズに対応した情報発信の充実

■ 栃木市の地域特性

栃木市には、様々な地域特性がありますが、スポーツの推進に生かすことのできるものとして、次の5点があげられます。これらの特性を生かしながら、具体的な施策や事業を推進します。

(1) 豊かな自然環境



豊かな自然環境に恵まれ、自然を身近に感じながらスポーツ活動を行うことができます。



(2) 利便性の高い交通環境



東京方面や北関東の主要都市などのアクセス性に恵まれ、利便性の高い交通環境が整っています。

(3) 充実したスポーツ施設



市内各地には46箇所のスポーツ施設や広場があり、市民が気軽にスポーツを楽しむ環境が整っています。

(4) 活発なコミュニティ活動



体育協会をはじめ、市民が生涯にわたって身近な地域でスポーツ活動を行うための基盤が整っています。

(5) 活躍するスポーツ選手



様々な種目で栃木市出身の競技・プロスポーツ選手が活躍し、市民に夢と感動を与えています。

3 スポーツ推進の基本的な考え方

■ スポーツライフの将来像と基本理念

本プランの目標年である平成34年(2022年)頃、栃木市では、次のようなスポーツライフが実現していることが望ましいと考えます。

■ キャッチフレーズ

元気はつらつ スポーツコミュニティ とちぎ

■ 将来イメージ

■ 市民だれもが

幼児が、近隣の公園やまちの中で、安心して楽しく遊んでいます。

児童・生徒が、学校や地域のクラブで、スポーツを楽しんだり、心身を鍛えたり、トップレベルを目指して一生懸命トレーニングに励んでいます。

成人が、仕事や家事の合間、休日などの余暇時間を利用して、気軽にスポーツを行い、地域の住民やクラブのメンバーとの交流を楽しんでいます。

高齢者が、安全な方法で、体力に応じて、スポーツを楽しみながら健康づくりを行っています。

障がい者が、バリアフリー化された施設や場で、スポーツを楽しんでいます。

外国人が、地域の人たちと一緒に、スポーツを楽しみ、様々な交流を深めています。

■ 市内どこでも

公園や歩道、広場など、身近な場所で、市民が日常生活の一部として、スポーツ活動を行っています。

学校で、体育や運動部活動はもちろんのこと、体育施設を利用して、地域住民がスポーツを行っています。

地域スポーツクラブや民間スポーツクラブで、活発なスポーツ・レクリエーション活動を行っています。

市内各地区で、適正に管理・運営された各スポーツ施設を活用し、市民が身近な場所でスポーツを行っています。

太平山や三轟山、岩船山、渡良瀬遊水地や渡良瀬川、永野川など、市内の豊かな自然のなかで、市内外の人々が生き生きとスポーツ活動を行っています。

■ 基本理念

■ 拠点づくりと利便性向上

- スポーツの推進にあたっては、市民ニーズや施設の立地状況等に考慮しながら、市民のスポーツ活動の「拠点づくり」を目指します。
- 拠点となる施設の維持管理や利用サービスの改善など、「利便性の向上」を目指します。

■ きずなづくりと人材育成

- スポーツ活動を通じた市の一体感の醸成と、人と人、地域と地域の「きずなづくり」を目指します。
- 東京オリンピック・パラリンピックなどのトップレベル大会開催を見据え、地元スポーツ選手・団体の競技力向上に向けた「人材育成」を目指します。

■ 交流促進と個性発揮

- スポーツを通じた国際・国内・地域などが交流する機会の充実により、「交流促進」を目指します。
- 魅力ある地域資源などを活用した栃木市らしいスポーツ施策の展開により、「個性発揮」を目指します。

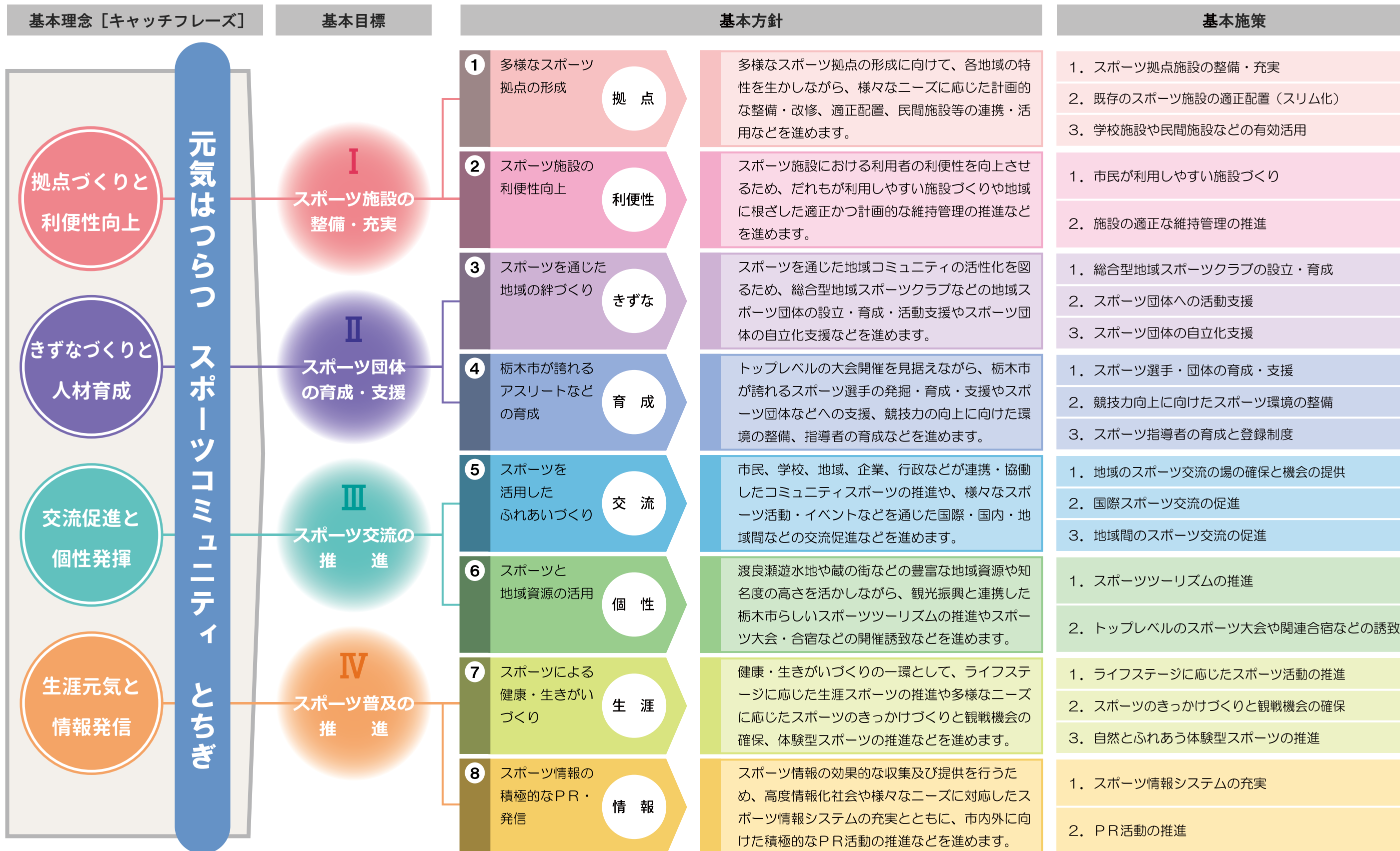
■ 生涯元気と情報発信

- いつでも、だれでも、どこでもスポーツに参加できる機会を確保し、市民の健康増進や生きがいづくりに寄与する「生涯元気」を目指します。
- 市民に必要な情報の提供や市内外へのスポーツ情報のPRなど、積極的な「情報発信」を目指します。



■ プランの基本体系

課題や基本理念との関連性に考慮しつつ、具体的な施策を構築することを視野に入れ、4つの基本目標、8つの基本方針、及び基本施策を体系的に設定しました。



4 プランの推進方策



本プランの実現に向けて、本市のスポーツ推進施策を統括し、各種事業を総合的・計画的に執行していただけるような体制を整えていくとともに、効果的、効率的な事業の推進に努めます。

1 個別施策の推進と庁内検討体制の充実

個々の施策については、今後、市の上位計画である栃木市総合計画に位置づけ、事業化を推進します。また、実現に向けて、スポーツに関連する部署との緊密な連携体制を構築し、推進していきます。

2 スポーツ推進審議会の活用

広く市民の意見及び要望を取り入れ、効果的な施策の展開に資するために設置されている、市民、関係機関及び団体で構成する栃木市スポーツ推進審議会を今後も活用し、進捗状況などを報告するとともに、意見を聴取しながら検証し、プラン全体の推進を図っていきます。

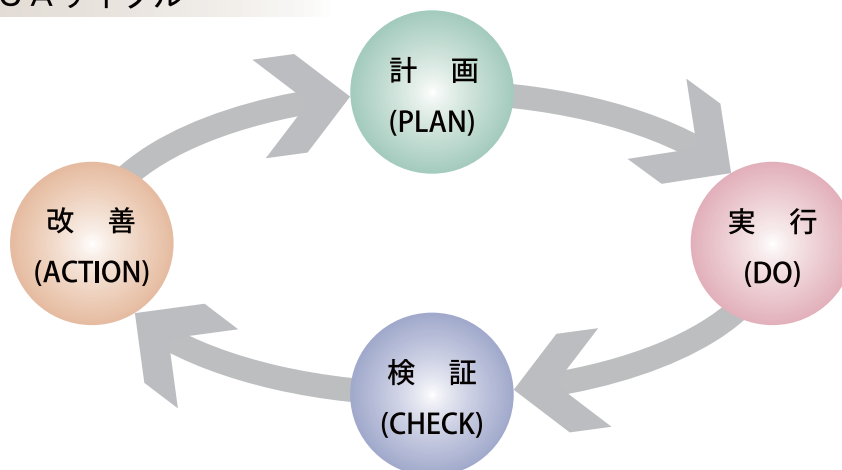
3 財源の確保

スポーツ推進に係る施策や事業の具体化にあたっては、適正かつ効率的な予算化を行うとともに、寄付金制度の導入や各種助成金の活用など、多様な財源の確保を検討し、効果的、効率的な事業の推進に努めます。

4 プランの検証・見直し

社会経済環境や市民のスポーツニーズの変化に応じて、プランの弾力的な運用に努めるとともに、必要に応じてPDC Aの観点から、プランの検証・見直しを検討します。

■ 参考：PDC Aサイクル



栃木市スポーツマスタープラン
平成28年度～平成34年度（2016年度～2022年度）

平成28年3月 栃木市教育委員会

スポーツ振興課

住所：〒328-8686 栃木市万町9-25
TEL 0282-25-0930 FAX 0282-25-0935
メールアドレス：sports@city.tochigi.lg.jp